

リサーチフェスタ2025へご参加いただくみなさまへ

甲南大学リサーチフェスタ事務局

12月21日(日)のリサーチフェスタ本番に向け、みなさま方の準備も佳境に入っていることと存じます。今年度は、甲南大学（岡本キャンパス）にて、ポスター発表形式で開催いたします。昨年度までオンラインで開催していた際とは、運営方法が変わりますので、当日の詳細について、本文書にてご案内いたします。発表グループの代表者様におかれましては、本内容をメンバー全員にお伝えいただくようお願ひいたします。

当日は、開会式（13：30～14：00）の中で実施する「ガイダンス」で、発表時の注意事項や、みなさまに参加いただく審査（オーディエンス賞の審査）の詳細を説明いたします。必ず開会式・ガイダンスから参加いただきますようお願ひいたします。

### 【当日のプログラム】

時間	プログラム	概要
13:00～13:30	受付	KONAN INFINITY COMMONS (iCommons) 1階で受付
13:30～13:45	開会式・ガイダンス	開会式および発表の流れ等について説明
13:45～14:00	会場確認	ポスターの場所を確認・Aグループ発表準備
14:00～14:30	Aグループ発表	10分発表（発表6分・質疑2分・入れ替え2分）を3回実施
14:30～14:45	自由閲覧	Bグループ発表準備・発表者同士の交流及び休憩
14:45～15:15	Bグループ発表	10分発表（発表6分・質疑2分・入れ替え2分）を3回実施
15:15～15:30	自由閲覧	Cグループ発表準備・発表者同士の交流及び休憩
15:30～16:00	Cグループ発表	10分発表（発表6分・質疑2分・入れ替え2分）を3回実施
16:00～16:30	自由閲覧 オーディエンス賞審査	A～Cの審査結果入力（教員審査員） オーディエンス賞審査（発表者全員） 発表者同士の交流および休憩
16:30～17:00	表彰式	学長賞のみ発表（その他は後日発表）

※受付終了後、開会式までの間にポスターをご確認いただくことも可能です。ポスターの修正や貼り替えなどは、適宜ご自身で作業をお願いします。

※ポスター（A0サイズ）を持参される方は、開会式開始までにご自身で指定場所に貼付けていただきます。時間に余裕をもってお越しください。

### 【発表時間について（注意）】

- ・グループごとに発表番号（アルファベット+2桁の数字）を割り当てています。発表番号は添付のプログラムをご確認ください。例えば、A01の場合、Aグループの時間帯、B01の場合Bグループの時間帯に発表します。

- 自分が発表しない時間帯は、自由に発表を聽講してください。
- 1時間帯 30 分ですので、割当たった時間帯に、自分のポスターの前で 10 分×3回の発表を必ず行ってください。1ターン 10 分の内訳は『発表 6 分以内』『質疑応答 2 分程度』『審査員・聴衆の移動 1～2 分程度』です。発表時間が長くなると、質疑応答の時間が設けられなくなりますので気を付けてください。
- すべての時間帯に審査員（甲南大学教員）を 1 名ずつ割り当てているので、聴講者が 0 となる時間帯は原則ありません。（※審査員は青いネックストラップを付けています。）  
もし、審査員が来ない場合はスタッフ（赤いスタッフジャンパーを着用）にお知らせください。
- 審査員は、30 分の間に 3 つの発表を審査するため、かならず 10 分ごとに移動します（移動時間含む）。発表時間の管理を誤ると質疑応答や適切な審査ができないくなる可能性がありますので、時間管理には十分に注意ください。

### 【進行について】

各ターンでの時間管理や質疑応答を円滑に進めるため、進行シナリオ（例）を作成しました。  
複数名チームの場合、進行役をあらかじめ決めておくなど、スムーズな進行のため準備しておいてください。なお、1名のみで参加しているチームは、トップウォッチやアラーム機能を活用するなど、必ずご自身で時間管理を行ってください。

- ① 開始時（開始 0 分）： それでは時間になりましたので発表を始めます。
- ② 発表終了（開始 6 分）： （時間になりましたので）これで発表を終了します。それでは、ただいまの発表に関して、質問やアドバイス、コメント等がありましたら挙手をお願いします。（適宜、参加者を当てて質問を促す）
- ③ 質疑終了（開始 8～9 分）： 時間になりましたので、これで終了します。ありがとうございました。

<質疑応答で何もリアクションがなく、時間に余裕がある場合のコメント例>

- ・この発表テーマを思いついた理由やきっかけ
- ・類似研究がある中、自分たちのオリジナリティだと思うところ
- ・研究を進めるなかで、苦労したこと
- ・この活動を通じて得られたことで、社会に役立ちそうなところ

### 【審査について】

今年度は学長賞（高校/大学各 1 件）・審査員特別賞（高校/大学各 4 件）・オーディエンス賞（高校/大学各 5 件）を表彰します。

学長賞・審査員特別賞は、甲南大学教員が、ひとり持ち点 100 点で審査を行います。

オーディエンス賞は、参加者が一人 2 票の投票権をもち、自分以外の発表に投票します。（投票方法は当日説明します）

参加者のみなさんは、ご自身の発表時間帯以外の時間帯は、審査を行う視点をもって積極的に聴講してください。なお、聴講するテーマは自由に選んでください。

審査の視点は次の表を参考にしてください。

審査項目	審査のポイント
テーマ設定	設定した研究課題の動機や意義、目的、仮説が明確であり、その研究を遂行することに大きな意味があるか、または、その研究を進めることで多くの人

	がその成果に関する興味を強く掻き立てられるか。また、類似した研究や調査と比較して、着眼点、独創性（オリジナリティ）、将来性、魅力が優れているか。
データ量	仮説を検証したり、目的を達成するために適切な手法で研究を計画、実施しているか。個人の主觀で説明しているのではなく、調査（アンケート）や実験、引用などを使って、客観的、多面的な分析をもとに解析、考察が為されているか、または、これから進めようとしているか。結果が出ていないくとも、研究の道筋がしっかりとっているか。
プレゼンテーション	その研究課題を専門としない人に対しても、わかりやすく説明され、聞き手の質問に対して適切に答えられているか。また、熱意や話術など、聴衆に伝える（訴える）様々な工夫がされているか。
ポスターデザイン	視覚資料としてのポスターを評価。ストーリー構成や色使い、図表・イラストなどが論理的で、適切な配置にデザインされているなど、聴衆に伝える様々な工夫を行っているか。

<発表者に対する質問例>

- ・この発表テーマを思いついた理由やきっかけは何かありますか？
- ・類似した研究と比べて、自分たちのオリジナリティを挙げるとどのような点がありますか？
- ・このテーマについて研究を進めるなかで、苦労したことはありますか？
- ・実験方法や計画などで、限られた時間の中で活動を進めたり、より良い結果を得るために工夫した点はありますか？
- ・この活動を通じて得られたことは社会のどのようなところで役立ちそうですか？
- ・ポスターがとてもわかりやすかったのですが、作る時の工夫等をどういうところにされていますか？ぜひ参考にしたいので教えて下さい。

【気づきノートについて】

リサーチフェスタでは、他者の発表を明確な視点をもって聴講するための「気づきノート」をご用意しています。当日は、聴講する時間帯につき1枚（参加者1人あたり2枚）を配付いたしますので、ご自由にお使いください。なお、使い方は本学からは指定いたしません。

※「気づきノート」は使用しなくても差し支えありません。

以上、リサーチフェスタ当日まで、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

---

甲南大学 リサーチフェスタ事務局  
事務局担当／荻山・中島・音村・西又  
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号  
TEL (078)435-2319  
FAX (078)431-2908  
e-mail [festa@ml.konan-u.ac.jp](mailto:festa@ml.konan-u.ac.jp)

---